



ようこそ「夢」先生!! パラ水泳 杉内周作先生 来校

～スポーツ笑顔の教室～



11日の3・4校時、5・6年生を対象に「スポーツ笑顔の教室」が開かれました。この事業は、スポーツくじの益金を活用したスポーツこころのプロジェクトの一環で、夢先生（スポーツの一流アスリート）と子どもたちが遊びと対話を通してコミュニケーションを図っていくなかで、子どもたちが笑顔や元気、自信を取り戻し、自身の力や可能性について気付けるよう導いていくというものです。今回、夢先生として来校していただいたのは、パラリンピック水泳の杉内周作さんでした。杉内さんは視覚障がいがある中で、アテネパラリンピック 400m 自由形リレー銅メダルをはじめ、他の種目でもアジア記録をもっていたすごい選手です。活動は前半、体育館で子どもたちとゲームをして、交流を深めた後、後半は6年教室でこれまでの経験や挫折、それを乗り越えるための努力などを通して、夢について考える授業を展開してくれました。そして、子どもたちは「宝物シート」を記入しました。宝物シートとは、子どもたちに自分の夢や好きなこと、授業を受けての感想を書いてもらうシートのことです。記入後、夢先生に送付することになります。送付したシートに、夢先生から一人ひとりの子どもたちへのメッセージをもらえる予定です。子どもたちにとって、自分の将来を考えるきっかけとなる時間となったように感じています。



福田小学校を100倍ステキにするプロジェクト（5年生）

5年生が国語の学習の発展として、標記のプロジェクトに取り組んでいます。福田小学校をさらによくするために、自分たちができることを自分たちでみつけ、考え、校長に企画の説明をして、校長が納得・了解すれば企画をスタートできるという活動です。子どもたちは「教室の入り口をきれいにしたい」「ウサギの『大福』をさらに人気者にしたい」「ちょっと暗くて汚れもある階段を楽しい空間にしたい」「全校生が楽しめるイベントをしたい」4つの取り組みを提案し、何度か差し戻しのすえ、実現にたどり着きました。子どもたちのおかげで福田小が100倍といわず1000倍以上ステキなところになったように思います。



